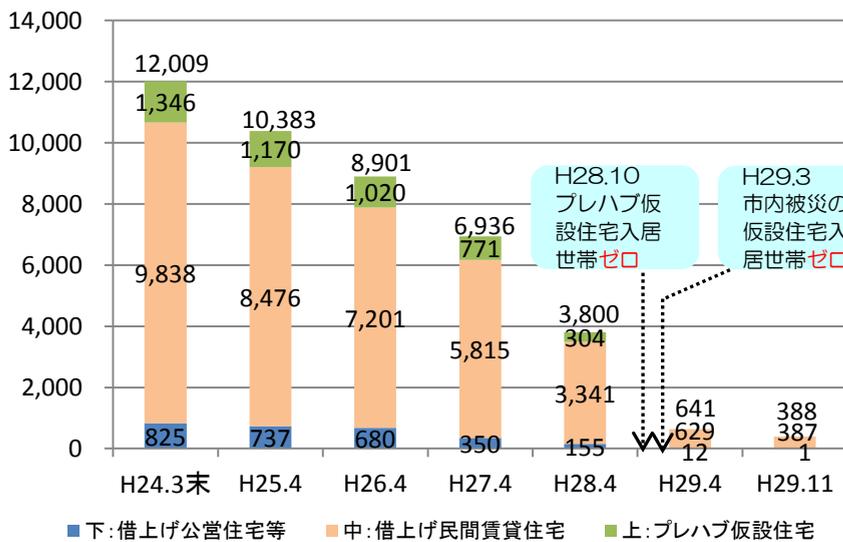




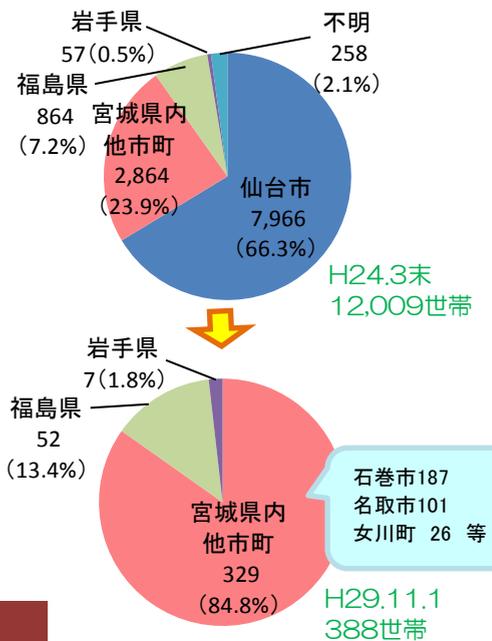
入居世帯の推移と震災時の居住地別入居状況

- 市内の仮設住宅入居世帯は388世帯となり、ピーク時（平成24年3月末）の3.2%まで減少しています。
- 市内で被災された世帯は平成29年3月末までに全て再建され、仮設住宅には市外で被災された世帯のみが入居されています。
- プレハブ仮設住宅は平成29年3月末までに全て解体され、市内の仮設住宅入居世帯は全て、借上げ民間賃貸住宅等の「みなし仮設住宅」に入居されています。

入居世帯の推移



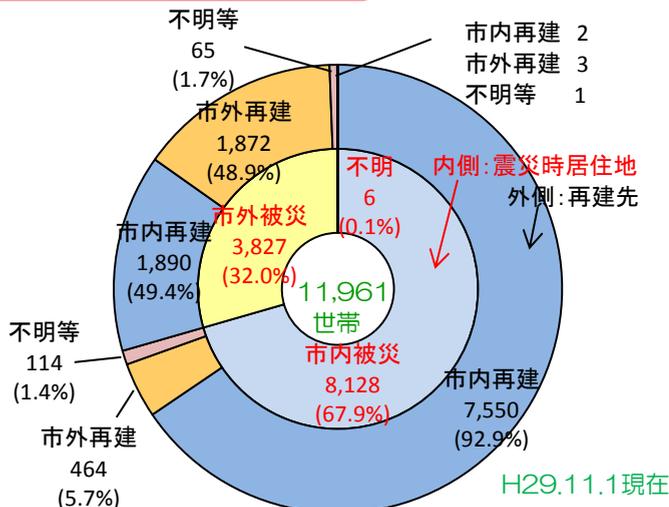
震災時の居住地別入居状況



入居世帯の住まいの再建

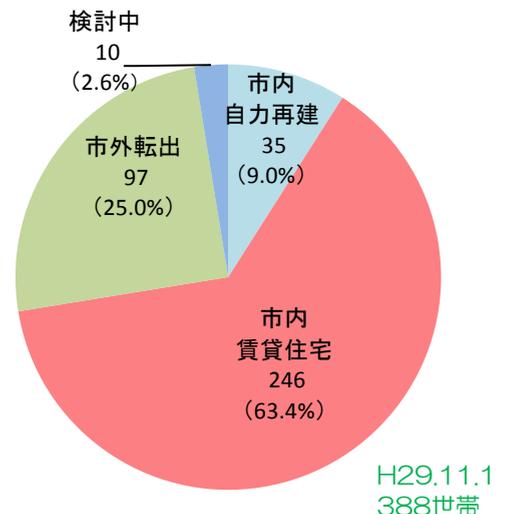
- これまで再建された世帯のうち、約79%の世帯が仙台市内で再建されています。（市内被災世帯の約93%、市外被災世帯の約49%が仙台市内で再建）
- 仮設住宅に入居されている世帯のうち、約72%の世帯が仙台市内での再建を希望されています。

震災時の居住地別再建状況



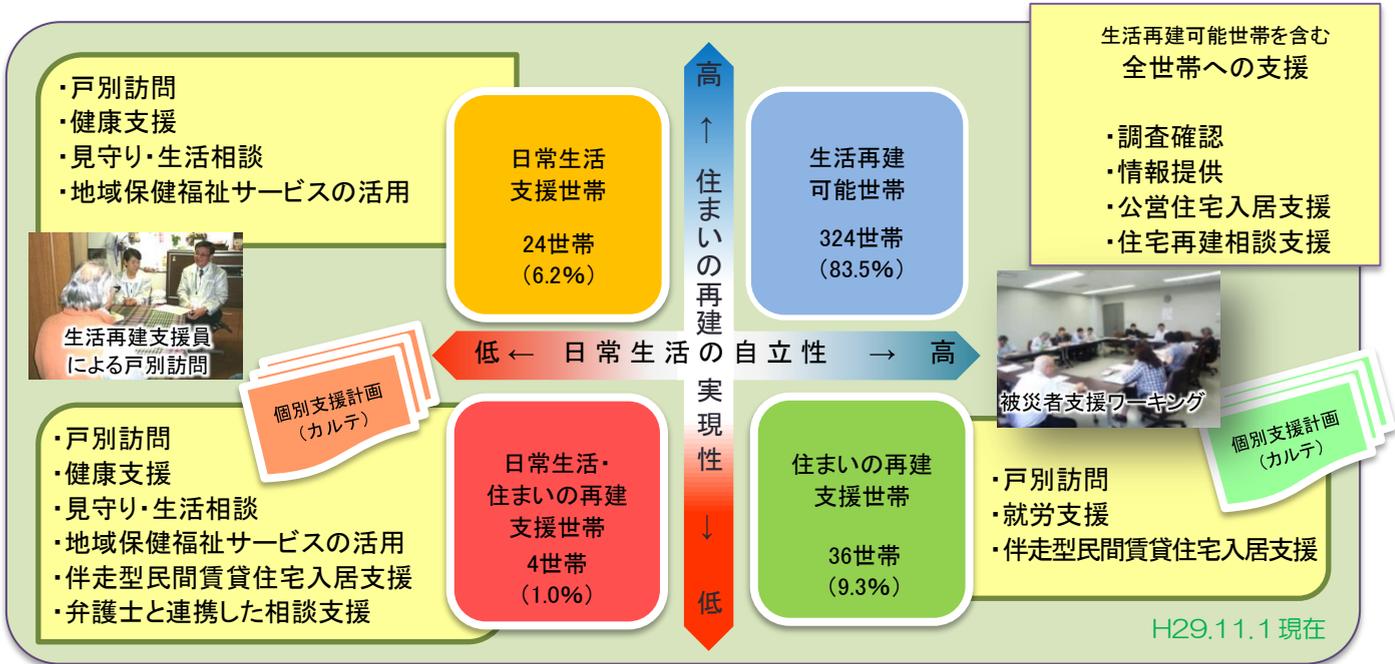
※H24.3末(ピーク時)以前に再建した世帯を含む。

仮設住宅入居世帯の再建方針



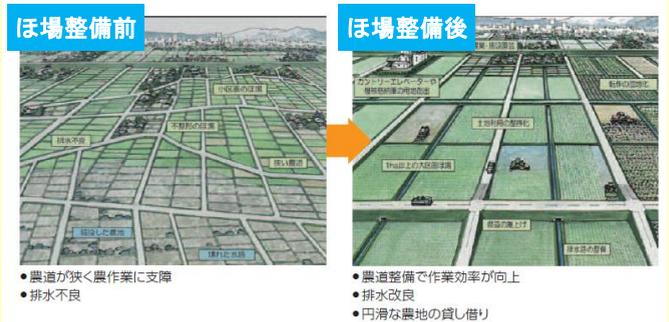
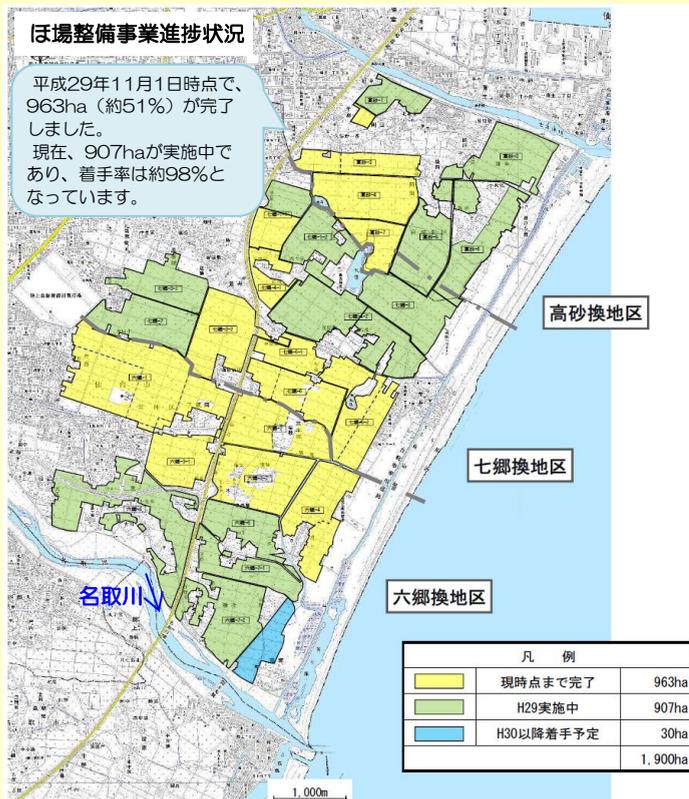
入居世帯への支援

新たな生活の場へ供与期間内に確実に移行できるよう、戸別訪問等を通じて課題を抱える世帯に対する移行支援に取り組んでいます。



仙台東地区 ほ場整備事業が進んでいます

仙台東地区では、津波浸水被害を受けた農地等の早期復旧と併せ、より生産性の高い競争力のある農業への転換を目指し、平成30年度末の大区画化の完了へ向け、国の協力を得て ほ場整備事業を進めています。



今年は夏場の天候不順の影響が心配されましたが、生産者の方々の日々の管理により、おいしいお米が収穫されました。

この記事に関するお問い合わせ先 経済局 農林土木課 ほ場整備推進室 TEL 022-214-7328 (直通)